

企業名	取組の概要
九州旅客鉄道株式会社	<p>○旅のライブ情報誌「Please」の 2017 年5月号巻頭特集や、パンフレットに霧島錦江湾国立公園、阿蘇くじゅう国立公園の記事を掲載。管内の新幹線・特急列車内や駅等で配布したほか、ホームページに掲載。</p>  
KNT-CT ホールディングス株式会社	<p>○国立公園訪日客向けバスツアー商品や宿泊プランを造成。</p> <p>○近畿日本ツーリスト個人旅行の首都圏の店舗店頭において全国の国立公園を専用 POP にて PR したほか、ウェブサイトにおいてもおすすめの国立公園をピックアップした取組を発信。</p> <p>○訪日観光客向けウェブサイト「YOKOSO JAPAN」において国立公園を紹介するサイトを開設、国立公園を巡るツアーラインアップを販売中。</p> <p>○クラブツーリズム発行媒体紙において、国立公園を特集シリーズ化。</p>
サントリーホールディングス株式会社	<p>○サントリーグループが、グローバル健康経営×環境活動の取組として、世界のグループ全社員を対象に実施する「One Suntory Walk」イベントを実施。1ヶ月の歩数を競いながら、参加者が一体となって健康意識を高め、運動習慣を身につけるプログラムで、この寄付先の一つとして、国立公園の環境保全活動を設定。寄付は、公園管理団体等を経由し、国立公園の保全活動に取り組むボランティアや自然体験活動に参加する子どもたちに対するグッズとして、提供される予定。</p>  <p>○その他、大山隠岐国立公園において行われる保全活動を支援することを目的として、同公園で育まれた水を採取してボトルングされている飲料水「奥大山の天然水」を活動参加者等に提供。</p>
株式会社ジェイティビー	<p>○JTB カードゴールド会員誌「Travel &amp; Life」、及び Web マガジンで国立公園満喫プロジェクトの紹介及び、阿寒摩周国立公園の特集記事を掲載</p> <p>○エース JTB「雲仙仁田峠プレミアムナイト」に代表される国立公園における着地型旅行商品の開発・流通の促進</p>

	<p>○国立公園の保全と理解の啓蒙に向けた清掃活動の実施(JTB いきいきプロジェクト)</p> <p>○国立公園におけるガイド育成等の人材育成への取り組みを実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「Travel&amp;Life」Webマガジン 旅コラム (月間約20,000PV)</p>
<p><b>四国旅客鉄道株式会社</b></p>	<p>○訪日外国人向け割引きっぷ「ALL SHIKOKU Rail Pass」のパンフレット内の地図に、瀬戸内海国立公園・足摺宇和海国立公園の区域を表示。</p> <p>○「JR 四国ニュース」2月号において足摺宇和海国立公園内の「滑床溪谷」を紹介。</p>
<p><b>全日本空輸株式会社</b></p>	<p>○ホームページ「ANA EXPERIENCE JAPAN」において、国立公園を紹介するサイトを開設。</p> <p>○機内等で配布する訪日旅行者向け情報冊子「ANA EXPERIENCE JAPAN」において国立公園の特集記事を掲載、3月末より配布中。</p> <p>○6月から8月までの3か月間、国際線のオンデマンド視聴に国立公園のPR映像を掲載。</p> <p>○英語版機内誌「WINGSPAN」に日光国立公園の記事を掲載 (今後、数か月に一度のペースで国立公園に関する記事を掲載予定)</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p><b>東海旅客鉄道株式会社</b></p>	<p>○JR 東海グループの旅行業部門、ジェイアール東海ツアーズにおいて制作している伊勢志摩向け旅行商品パンフレットに国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載し、伊勢志摩国立公園を PR(29 年度上期商品に引き続き、下期も実施)。数万部発行、ツアーズ店頭等に配架(WEB 上に電子パンフレットもあり)。</p> <p>○インバウンド旅行者向け周遊きっぷ「ツーリストパス」の商品チラシ、アルペン・高山・松本エリア周遊きっぷ版に国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載</p>

し、中部山岳国立公園をPR。



西日本旅客鉄道株式会社

○4月以降制作のJR-WEST RAIL PASSパンフレットや特典ブック等制作物にオフィシャルパートナーのロゴを掲載。今後も引き続き制作物にはロゴを掲載予定。  
○弊社ホームページに環境省国立公園ホームページへのバナーリンク貼付



日本航空株式会社

○機内誌「SKYWARD」(国際線版、国内線版)において、国立公園の魅力を紹介する記事を連載中。



○6月に国際線・国内線の機内映像において、国立公園のPR映像を放送。

株式会社日本旅行

○「次の世代に残したい日本の観光資源を深く知って守る旅」をコンセプトに国立公園をテーマとした専用商品を開発。6～9月期は伊勢志摩国立公園、霧島錦江湾国立公園。



○国立公園をテーマとした専用商品の 11月～3月期商品、2商品を発売(10月中旬)

・阿寒摩周国立公園／奄美群島国立公園



○ウェブサイトにおいて、国立公園紹介用専用ページ「日本の国立公園へ行こう」を作成・掲載。

○国内募集型企画旅行「赤い風船」パンフレット(観光型)において、設定観光場所が含まれる国立公園名を掲載。

東日本旅客鉄道株式会社

○新幹線車内誌「トランヴェール」6月号巻頭特集にて日光国立公園、十和田八幡平国立公園等の記事を掲載したほか、同誌インバウンド向け記事や「大人の休日倶楽部」会員誌、において国立公園の記事を掲載中。





## 国立公園オフィシャルパートナーの取組例（H29.9月時点）

<p><b>エクスポートジャパン株式会社</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジャパンガイド内コンテンツ、「National Parks」を作成し、国立公園の周知・啓蒙を実施。</li> <li>○ジャパンガイド内コンテンツ、「National Parks」の PV 数、クリック数を期間別、国別に集計、情報提供を実施</li> <li>○国立公園に関する Web アンケート調査を実施</li> </ul> <p><b>National Parks</b></p>   <p>The first national parks in Japan were established in 1931 to designate and preserve places of scenic natural beauty for people to enjoy. They included the coastal areas around the <b>Setonaikai</b> and the mountainous areas of <b>Kirishima</b> and <b>Unzen Amakusa</b>. Today, there are 33 national parks scattered across the country from the northern tip of <b>Hokkaido</b> to the southernmost islands of <b>Okinawa</b>.</p>
<p><b>SGホールディングス株式会社</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月より、当社ホームページ上に「国立公園オフィシャルパートナー」特設サイトを開設。サイト内において、満喫プロジェクト8公園を紹介し、国立公園の魅力や情報の発信を開始。  <a href="http://www.sg-hldgs.co.jp/">http://www.sg-hldgs.co.jp/</a>  <a href="http://www.sg-hldgs.co.jp/park/">http://www.sg-hldgs.co.jp/park/</a></li> <li>○10月より、佐川急便が東京駅内で訪日外国人観光客や国内の観光客、ビジネス客向けに手荷物預かりや宅配サービスを提供する「TOKYO SERVICE CENTER」を中心に、東京23区内のサービスセンターに国立公園パンフレットを順次設置予定。パンフレットを設置することで、利用者へ国立公園の魅力を発信。</li> </ul>  



## 国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (H29.9月時点)

### 小田急電鉄株式会社

○8月より、富士箱根周遊券の案内パンフレットをリニューアルし、国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載するとともに、富士箱根伊豆国立公園の情報を紹介。弊社の外国人旅行センター(新宿・小田原)等に配布、案内に活用中。



### 一般財団法人休暇村協会

- 全休暇村のフロントにオフィシャルパートナーの締結書を掲示し、パートナー企業であることを広くPR。
- 近畿地方環境事務所の発行する「山の日イベントカレンダー」に近畿ブロックの休暇村が主催するイベント情報を掲載。また、完成したパンフレットを近畿の休暇村において自然への関心の高い方(自然体験プログラム参加者)へ配布。
- 国立公園の魅力を伝えるツールとして、体験プログラムの資料を多言語(日・英・韓・繁)で作成。



(↑多言語体験資料)

Mt. 100 Japanese mountains climbing		KYUKAMURA HOTELS	
Mountain	Time	Hotel	Asport
山王 小幡山 (Mt. Oobana)	75	Okamura Katsushiba 休暇村 松山温泉	120 丹波正史(Amuse Agi)
山王 小幡山 (Mt. Oobana)	0		90 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	100	Okamura Hago 休暇村 日高	150 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	45		75 福留謙也(Akuse Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	30	Okamura Itoya 休暇村 伊豆	120 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	0		180 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	15	Okamura Minami 休暇村 南	90 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	45		90 山田孝典(Tsuyama Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	30	Okamura Nishimura 休暇村 日高	150 福留謙也(Akuse Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	30		180 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	60	Okamura Katsushiba 休暇村 松山温泉	180 杉田孝典(Kita Agi)
山王 常陸 常陸山 (Mt. Tsukuba)	30		180 山田孝典(Tsuyama Agi)



(↑登山資料: 日本百名山×休暇村) (↑商談会風景)

○韓国・台湾・香港・中国において開催される商談会及びセールス時に、国立公園の周遊企画や体験プログラムを提案。

	<p>○米国メディア Globus Vision インタビュー時に、理事長の言葉で日本の国立公園をPR。</p> <p>・他、他企業との連携事業、多言語版公式HPリニューアルなどを進行中</p>  <p>(↑ Globus Vision インタビュー)</p>
<p><b>シダックス株式会社</b></p>	<p>○「Manabi Japan」というオウンド・メディアを作成</p> <p>・日本文化のキュレーション・サイト。日本語・英語版を作成。</p> <p>WEBサイトは 11 月に公表予定。その中で「国立公園特集」ページを構築予定。</p> <p>・さらに、国立公園特集ページの内容を中心にフリーペーパー(20P.1 万部)を制作。12 月発行予定。</p>   <p>(↑フリーペーパー表紙案) (↑WEBサイト、デザイン案)</p>
<p><b>首都高速道路株式会社</b></p>	<p>○6月より、静岡・山梨観光キャンペーンを実施。ドライブ情報誌「首都高じやらん」にて富士山麓をドライブで楽しむ特集記事を掲載し、富士箱根伊豆国立公園周辺の観光スポットを紹介。</p> <p>併せてサービスエリアでの地域のPRイベントにおいて、やまなし観光推進機構と連携し、富士箱根伊豆国立公園を含む観光スポットの情報を発信。</p>  
<p><b>東武鉄道株式会社</b></p>	<p>○台湾や韓国等における旅行博や商談会において日光国立公園のPRを実施。</p>

<p><b>東武トップツアーズ株式会社</b></p>	<p>○日光・尾瀬国立公園への誘客促進に向けた商品造成を実施。</p> <p>①「SL 大樹デビュー記念日帰りツアー」 設定日:8/19・20・25・26</p> <p>②「FEEL 東武の尾瀬 尾瀬夜行 23:55」 設定日:5/26～10/14</p> <p>③「東武東上線&amp;尾瀬号(高速バス)で行く尾瀬」 設定日:5/19～10/15</p> <p>④「東武線&amp;東武バス&amp;関越交通 日光・尾瀬周遊プラン」 設定日:5/19～10/15</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(↑①)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(↑②)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(↑③)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(↑④)</p> </div> </div> <p>○11月に日光国立公園の紹介案内を作成し、海外メディアに向けリリース発信する予定</p>
<p><b>中日本高速道路株式会社</b></p>	<p>○香港の日本旅行向け専門誌「Go! Japan Magazine」へ NEXCO 中日本エリア内の国立公園(15か所)の情報提供</p> <p>○サービスエリアでのコンシェルジュによる情報提供</p>
<p><b>成田国際空港株式会社</b></p>	<p>○成田国際空港の入国審査ゲートのモニターにおいて、国立公園の PR 映像を放送。</p>
<p><b>西日本高速道路株式会社</b></p>	<p>①ラジオ放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自社ラジオ番組(Drive Porter Radio)での観光 PR</li> </ul> <p>5/28 吉野熊野国立公園(和歌山県すさみ町枯木灘海岸)</p> <p style="padding-left: 20px;">大山隠岐国立公園(大山夏開き祭り)</p> <p style="padding-left: 20px;">足摺宇和海国立公園(国立公園内のマリナクティビティ)</p> <p style="padding-left: 20px;">阿蘇くじゅう国立公園(ミヤマキリシマの咲き頃)</p> <p>6/25 瀬戸内海国立公園(広島県廿日市市極楽寺山のスイレン)</p> <p>7/23 霧島錦江湾国立公園(えびの高原山の日イベント)</p>



	<p>7/30 瀬戸内海国立公園(ドルフィンセンター)          &lt;PR内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国立公園のイベント・見どころの紹介(全箇所)</li> <li>・ラジオDJによる現地取材(7/30 ドルフィンセンター)</li> <li>・国立公園担当者への電話取材を放送(7/23 えびの高原)</li> </ul> <p>②テレビCM</p> <p>●高速道路周遊パスの利用促進テレビCMにおいて、国立公園をPRするとともに、国立公園のシーンではロゴマークを使用。平成29年7月から8月末までNEXCO西日本管内で放送。</p> <p>➤(例)中国編/加賀の潜戸(大山隠岐国立公園)</p>   <p>③ポスター掲示          高速道路周遊パスのポスターにおいて、国立公園写真及びロゴマークを使用。</p> <p>④管内のSA・PAで配布している「遊・悠 WesT」にて、慶良間諸島(沖縄県)を紹介。(右図)</p>
<p>日本空港ビルデング株式会社</p>	<p>○羽田空港国内線ターミナルにおける映像媒体(羽田フューチャービジョン:60台)にて30秒PR動画を放映</p> 
<p>阪神高速道路株式会社</p>	<p>○広報誌「どらいぶらり」の特集において、瀬戸内海国立公園である六甲山を紹介、配布のほかホームページにも掲載。</p>
<p>東日本高速道路株式会社</p>	<p>○フリーペーパー「Highway Walker」において、阿寒国立公園(名称は当時)、十和田八幡平国立公園の特集記事を掲載、当社事業エリアのサービスエリアに配布。</p> 

<p><b>本州四国連絡高速道路株式会社</b></p>	<p>〇〇せとうちコミュニケーションマガジン『瀬戸マーレ』などで瀬戸内海のみどころを紹介。また、各種冊子や瀬戸内しまなみ海道のクリアファイルにロゴマークを使用し、瀬戸内海国立公園をPR。</p>   
<p><b>株式会社 モンベル</b></p>	<p>〇モンベルフレンドフェア仙台とフレンドフェア横浜の 2 会場にて「みちのく潮風トレイル」ブースを設置し、PR を実施。</p> <p>〇モンベルアウトドアチャレンジの開催により、各国立公園への誘客促進。</p> <p>〇モンベルクラブ会報誌(77 万人)OUTWARD にオフィシャルパートナーシップ締結について紹介。</p> <p>〇自然公園専門誌『国立公園』表 4 モンベル広告にて国立公園の画像掲載。</p>
<p><b>株式会社ヤママップ</b></p>	<p>〇Youtube で公開している番組において、阿蘇くじゅう国立公園内の「九重連山」等を紹介。</p> <p>〇ウェブマガジンにおいて、伊勢神宮や熊野古道、戸隠連山など国立公園エリアの記事を随時配信。</p>  <p>〇8月から国立公園フォトコンテストを実施。10月末まで応募、11月に結果を公表予定。</p> 

ここに掲載している企業・取組のほか、オフィシャルパートナーの各社では、ホームページやパンフレット等における国立公園オフィシャルパートナーのロゴ表示や、環境省国立公園ホームページとのリンク、SNS の連携による情報発信等を実施しています。

環境省においても、各社のオフィシャルパートナーシッププログラムの取り組みについて、国立公園公式 SNS による情報提供等を行っています。